



桜散りぬるを

白谷瑞希



# 目次

はじめに . . . . .	1
瞬き . . . . .	2
休日 . . . . .	3
蝶の一生 . . . . .	4



## はじめに

本書は詩集の第二弾です。協力や応援をしてくださった方々、並びに編集者の方々に心から感謝を捧げます。

## 瞬き

瞬きをする一瞬に  
すべてが込められてるのであれば  
私は何をするだろう

人のために  
誰かのために  
奔走する

そんな生き方がしてみたい  
そんな生き方がしてみたい

## 休日

飲みかけのコーヒーを片手に  
続きの気になるミステリーを捲る

会社で疲れた同じ目で  
ペーパーの活字を読む

なんて楽しんだろう  
束の間の休息

明日からは電車に揺られ  
ひたすらパソコンに向かう

せめて今は誰にも  
邪魔されたくない  
そんな休日

## 蝶の一生

蝶がひらひらと舞う  
踊るように  
跳ねるように

生まれた喜びを表現しているのか

やがて成長し、  
卵を葉に植え付ける  
産みの苦しみにも耐え

蝶は舞う  
空の狭間で  
居場所 ほんの  
寛げる場所を探して

羽根はいつしか  
破れ 色を消し  
己の寿命を知る

そして思う  
次の世代に  
残せたものは  
なんだったのだろうか





---

桜散りぬるを

---

著 白谷瑞希

制作 Puboo  
発行所 デザインエッグ株式会社

---